

# 地図品質検査・評価ツール Indigo-i

アイサンテクノロジー株式会社

**キーワード** 地理標準、品質評価、自動検査

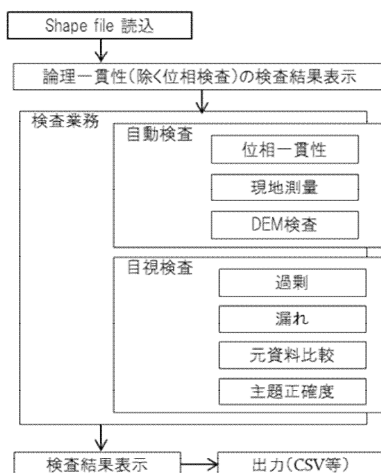
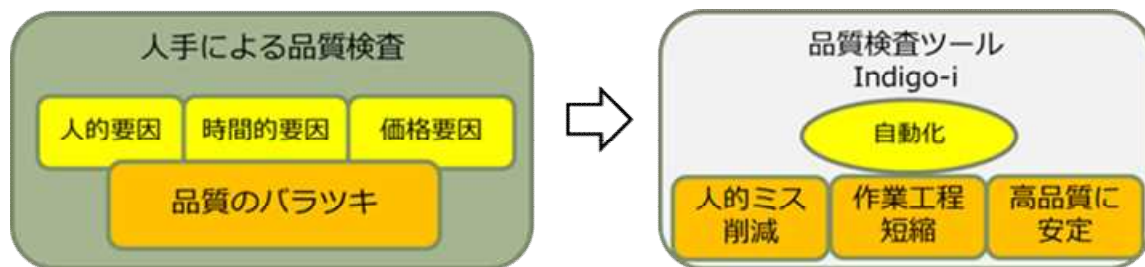


GISを整備するためには、元となる空間データの作成が必要ですが、従来のデータ作成が公共測量作業規程に基づく作成仕様＝プロセス規定であったのに対し、空間データの作成は、出来上りの品質に対する要求仕様＝プロダクト規定で作業をすることになります。

この要求品質がクリアできているかを確認するための品質検査が必要となります。

Indigo-i は、国土地理院が策定した「地理情報標準第2版 (JSGI2.0) VIII,品質評価手順工程フロー」に準拠し、空間データの適正な品質を自動的に判別する品質検査ツールです。

従来の人手による検査は、人的要因、時間的要因、価格要因により品質結果にバラツキが生じてしまいますが、この Indigo-i を利用することで、人為的ミスの削減、作業工程の短縮、品質検査の安定を実現できます。



※2012年度 DM 対応

## ■ [論理一貫性]-[位相一貫性]

自動で検査後、目視でエラーを確認します。  
※位相一貫性の検査には、「図面情報の品質評価方法（特許第4950313号）」の特許技術に基づき、弊社独自の検査法を使用しています。



## ■ [完全性]-[過剰]

目視検査は自動でサンプリング（抽出）されたデータに対して行います。  
原典資料となる画像データを背景にして、その背景上の地物データと検査する地物データとの重なり状況を目視で比較することによって、それが過剰であるかどうかを判断します。



## ■ [検査結果表示→出力]

エラー箇所やエラー要因をCSVファイルに保存することで、情報の共有と利用者の利便性を向上します。

